

Weiser-Künstler

ヴァイサー・キュンストラー

地域: Mosel

オーナー: Konstantin Weiser コンスタンティン・ヴァイサー、
Alexandra Künstler アレクサンドラ・キュンストラー

地区、村: Traben-Trarbach トラーベン・トラーバツハ

醸造・栽培責任者: Konstantin Weiser コンスタンティン・ヴァイサー、
Alexandra Künstler アレクサンドラ・キュンストラー

HomePage: <http://www.weiser-kuenstler.de/>



創業年: 2005 年

ドメーン解説

歴史:

銀行員だったコンスタンティン・ヴァイサーが 2005 年に立ち上げた醸造所。ヴァインスベルクの醸造学校でワイン栽培醸造技術者の資格を取ったあと、モーゼルのエンキルヒにあるイミツヒ・バッテリーベルク醸造所で経営責任者となった当時から、土地のことをよく知っており、エンキルヒャー・エラーグループの 1.8ha の畑に出会う。耕地整理されていない、自根の一部 100 歳にもなる葡萄樹のみの区画が、この醸造所の土台である。2006 年からアレクサンドラ・キュンストラーとともに醸造所を営んでいるが、彼女もまた醸造家の訓練を受けてプロフェッショナルとして貢献している。ワインはどれをとっても美味しい。2010 年産は生産年を真っ正直に表現している。まさに飾り立てない自然なリースリング。品がよく澄んだ甘口のエラーグループは磨かれた酸味があり、モーゼルを代表する資格十分。

本人の略歴:

ワイン造りへの大いなる熱意と覚悟をもって 2005 年に醸造所を設立してから、今日までその情熱は衰えることはない。コンスタンティン・ヴァイサーはフランケンにあるバイエルン・シュヴァーベン地方の出身。同じくフランケン出身でパートナーであるコンスタンティン・ヴァイサーと、モーゼルで出会う。モーゼルリースリングへの情熱と専門知識をお互いに理解し、補完し合っている。コンスタンティン・ヴァイサーは醸造を担当、アレクサンドラ・キュンストラーは運営や実務を担う。二人とも葡萄畑での仕事を愛している。また、『クリツクライネ・リング』というプロジェクトに参加していて、耕作放棄地となっている急斜面の葡萄畑の救済を通じ、葡萄畑の広がる美しいモーゼル特有の景観の維持に貢献している。

哲学:

『偉大なワインは葡萄畑で出来る』- 樹齢の高い木からブドウを収穫し、収穫量を低く抑えることがワイン造りの基本であると考え。そうして育てたブドウは愛情をこめて丁寧に醸造することで、モーゼルリースリングの偉大さを表し、伝えることができる。ワインを『造る』のではなく、ブドウがワインに変化することを畏敬の念を持って導いていくことが私たちの使命である。耕地整理されていない古い畑に育つ、接ぎ木をしていない自根の葡萄樹の個性とポテンシャルは素晴らしい。この資質を生かすために、手作業だけで手間暇を惜しまず畑の世話をする。私達のワインは私達の生き方でもあり、生きることの素晴らしさ、味わう楽しみ、喜びが詰まっている。そのようなワインはモーゼル独自の、他

に真似することのできないリースリングであると考える。

畑について

栽培方法：ビオロジック(認証はまだ取得していない)

-その栽培方法の開始時期：ドメーヌ設立時から

-その栽培方法を適用している畑名：全ての畑

-栽培方法の将来的な展望：今まで通り自然農法での耕作を続けるつもり。植物、動物、人間など全てのものは世界で共存しているので、互いに敬意と愛情を持ちながら接していかないといけないと考えている。私達は世界を全体論でとらえている。

認証機関：なし

土壌：デヴォン期青色スレート粘板岩

微気候：地中海性気候に近い気候。スレート粘板岩土壌は蓄熱性に優れている。畑は南西～西方向に面しており夏は夜間でも温度が下がりにくい。

自社ブドウ畑面積：3ha

契約ブドウ畑面積：0ha

自社ブドウ畑の数：4

自社栽培ブドウ品種：リースリング

ブドウ以外の自社農作物：なし

ブドウ畑以外の自社畑総面積：0ha

主な仕立て方法：一本の支柱に添わせてブドウ樹を仕立てる仕立て方

仕立ての支柱の素材：木

仕立ての添え木の素材：木

堆肥：圧搾をした後のブドウの皮、及び購入した堆肥を使用する

醸造について

酵母のタイプ:天然酵母

圧搾方式:空気圧式プレス

醗酵容器の素材と容量(L):全体の4分の3は1000Lフーダー、残り4分の1はステンレスタンクで醗酵

熟成容器の素材:1000Lフーダー及びステンレスタンク

セラー環境:セラーは住居と醸造所の敷地の地下にあります。とても古いセラーで、そのうちのある部分は1854年に建てられた住居部分よりも前に造られており、近代型のセラーにあるような設備はありません。私達の住んでいる地域では、ブドウ畑は急こう配である為に住居やセラーを畑の中に造ることが出来ないため、畑の側にセラー併設することは滅多にありません。従って、伝統的にセラーや醸造所は町中に建設され、町を囲むようにブドウ畑が連なっています。私達の醸造所は畑から約5キロ離れた所にあります。

年間生産ボトル本数:12,500本